

2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 株式会社アトラエ 上場取引所 東
 コード番号 6194 URL https://atrae.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 新居 佳英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 鈴木 秀和 TEL 03-6435-3210
 定時株主総会開催予定日 2021年12月17日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月16日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,464	-	1,010	-	1,005	-	645	-
2020年9月期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2021年9月期 645百万円（-%） 2020年9月期 -百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	24.18	24.01	12.8	15.7	22.6
2020年9月期	-	-	-	-	-

（参考）持分法投資損益 2021年9月期 -百万円 2020年9月期 -百万円

- （注）1. 2021年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期の対前期増減率並びに2020年9月期の数値及び対前期増減率は記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。
2. 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	6,404	5,111	78.6	188.23
2020年9月期	-	-	-	-

（参考）自己資本 2021年9月期 5,037百万円 2020年9月期 -百万円

（注）2021年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期の数値は記載しておりません。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	1,091	△173	0	4,834
2020年9月期	-	-	-	-

（注）2021年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	-	-	-	-

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（%表示は、通期は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,850	-	500	-	498	-	200	-	7.47

（注）2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	26,779,200株	2020年9月期	26,725,200株
② 期末自己株式数	2021年9月期	18,232株	2020年9月期	17,132株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	26,708,885株	2020年9月期	26,574,162株

（注）2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,464	30.1	1,063	45.2	1,061	44.8	706	62.8
2020年9月期	3,430	6.2	732	3.0	733	2.8	433	△13.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	26.44	26.26
2020年9月期	16.32	16.17

（注）2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	6,424	5,172	79.4	190.50
2020年9月期	4,897	4,391	89.7	164.41

（参考）自己資本 2021年9月期 5,097百万円 2020年9月期 4,391百万円

（注）2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の不確定要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年11月11日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を実施する予定です。当日使用する資料を決算補足説明資料として、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が著しく制限され、段階的な経済活動の再開により景気回復の兆しが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済活動の動向は極めて不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社は、「世界中の人々を魅了する会社を創る」というビジョンの下、成功報酬型求人メディア「Green」、エンゲージメント解析ツール「Wevox」及びビジネス版マッチングアプリ「Yenta」を運営してまいりました。

成功報酬型求人メディア「Green」については、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済活動の動向が不透明な状況にある中で、求人企業の採用は厳格な状況でありました。一方で、求人企業の多くが属するインターネット業界は、人工知能やIoTに関する様々なサービスが生まれており、ITエンジニアやWebデザイナーといった人材の需要は堅調に推移しております。当社では、求人企業と求職者のマッチング効率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上をはじめ、登録者数の増加施策としてWebマーケティングの強化等、転職市場におけるGreenの独自の競争優位性を活かした様々な取り組みを実施しております。

また、Greenに次ぐ新たな事業として、「Wevox」及び「Yenta」の収益化に力を入れて取り組んでおります。

エンゲージメント解析ツール「Wevox」については、2017年5月の正式リリース以降着実に導入企業を増やし、本書提出日現在の導入企業は2,140社を超えており、幅広い業種・業界の企業にサービスの提供を行っております。組織の状態をスコアリングして可視化し、改善策を推奨することで、利用企業の組織改善を支援しています。当社では、今後の拡販に向けてプロダクトの更なる向上、カスタマーサポート体制の充実を図ることが重要と考えております。ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」については、2020年5月に国内全国版のリリースを行いました。新型コロナウイルス感染症の拡大により積極的な外出が困難な状況においても、オンラインによる「ビジネスを加速させる出会い」を生み出し、ユーザー数が順調に増加しております。さらに海外都市展開を踏まえた機能開発にも注力しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は4,464,211千円、営業利益は1,010,904千円、経常利益は1,005,868千円、親会社株主に帰属する当期純利益は645,720千円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(People Tech事業)

成功報酬型求人メディア「Green」については、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済活動の動向が不透明な状況にある中で求人企業の採用意欲に回復の兆しが見られ、当連結会計年度の入社人数は3,583人（前年同期比14.3%増）となりました。エンゲージメント解析ツール「Wevox」については、大手企業への導入が着実に進み、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うリモートワークへの移行によりエンゲージメントに対する注目度が更に上昇いたしました。

以上の結果、売上高は4,464,611千円、セグメント利益は1,063,601千円となりました。なお「Green」の売上高は3,573,200千円、「Wevox」の売上高は802,899千円であります。

(Sports Tech事業)

当社は、2020年7月に100%子会社である株式会社アルティアリーを設立し、当連結会計年度はB3リーグ2021-22シーズン参入を目指し、プロバスケットボールクラブの運営等を進めてまいりました。以上の結果、セグメント損失は55,920千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は6,404,851千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が4,834,986千円、売掛金が643,439千円、有形固定資産が249,250千円、投資その他の資産が610,434千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は1,293,139千円となりました。その主な内訳は、未払金が736,525千円、未払法人税等が342,111千円、未払消費税等が97,383千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は5,111,711千円となりました。その主な内訳は、資本金が1,123,688千円、資本剰余金が1,109,688千円、利益剰余金が2,804,757千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、4,834,986千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は、1,091,757千円となりました。この主な増加要因は、税金等調整前当期純利益1,005,868千円、未払金の増加額454,967千円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額382,518千円、法人税等の支払額214,903千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動により支出した資金は、173,938千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19,319千円及び投資有価証券の取得による支出150,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動により得られた資金は、540千円となりました。これは主に、新株予約権の行使に伴う株式の発行による収入があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2022年9月期の連結業績予想につきましては、People Tech事業の売上高は、Greenが4,300,000千円、Wevoxが1,250,000千円、新規事業が100,000千円、Sports Tech事業の売上高は200,000千円、連結売上高は合計5,850,000千円を予想しております。連結営業利益は、People Tech事業においては、Greenの認知度を向上させるための広告宣伝投資、Wevoxのカスタマーサクセス強化を中心とした人材採用、Sports Tech事業においては、スポーツビジネスにおける新たな価値の創造に挑戦するための戦略的な先行投資を予定していることから、500,000千円を予想しております。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,834,986
売掛金	643,439
その他	65,574
貸倒引当金	△5,800
流動資産合計	5,538,199
固定資産	
有形固定資産	
建物	186,247
工具、器具及び備品	100,994
リース資産	16,227
減価償却累計額	△54,219
有形固定資産合計	249,250
無形固定資産	
ソフトウェア	6,966
無形固定資産合計	6,966
投資その他の資産	
投資有価証券	349,527
繰延税金資産	159,104
その他	101,802
投資その他の資産合計	610,434
固定資産合計	866,651
資産合計	6,404,851
負債の部	
流動負債	
買掛金	4,328
リース債務	2,426
未払金	736,525
未払法人税等	342,111
未払消費税等	97,383
売上返金引当金	830
その他	89,969
流動負債合計	1,273,575
固定負債	
リース債務	15,174
繰延税金負債	4,389
固定負債合計	19,564
負債合計	1,293,139
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,123,688
資本剰余金	1,109,688
利益剰余金	2,804,757
自己株式	△790
株主資本合計	5,037,345
新株予約権	74,366
純資産合計	5,111,711
負債純資産合計	6,404,851

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,464,211
売上原価	78,173
売上総利益	4,386,038
販売費及び一般管理費	3,375,134
営業利益	1,010,904
営業外収益	
受取利息	65
雑収入	175
営業外収益合計	240
営業外費用	
支払手数料	1,311
投資事業組合運用損	3,883
雑損失	81
営業外費用合計	5,276
経常利益	1,005,868
税金等調整前当期純利益	1,005,868
法人税、住民税及び事業税	425,942
法人税等調整額	△65,795
法人税等合計	360,147
当期純利益	645,720
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純利益	645,720

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	645,720
包括利益	645,720
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	645,720
非支配株主に係る包括利益	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	1,123,418	1,109,418	2,159,037	△790	4,391,084	—	4,391,084
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	270	270			540		540
親会社株主に帰属する当期純利益			645,720		645,720		645,720
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						74,366	74,366
当期変動額合計	270	270	645,720	—	646,260	74,366	720,627
当期末残高	1,123,688	1,109,688	2,804,757	△790	5,037,345	74,366	5,111,711

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	1,005,868
減価償却費	35,285
株式報酬費用	74,366
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,883
受取利息	△65
支払手数料	1,311
売上債権の増減額 (△は増加)	△382,518
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,172
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,589
未払金の増減額 (△は減少)	454,967
未払消費税等の増減額 (△は減少)	56,809
売上返金引当金の増減額 (△は減少)	0
その他資産の増減額 (△は増加)	12,567
その他負債の増減額 (△は減少)	41,516
小計	1,307,755
利息の受取額	65
その他の支出	△1,160
法人税等の支払額	△214,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,091,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19,319
投資有価証券の取得による支出	△150,000
敷金の差入による支出	△4,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	540
財務活動によるキャッシュ・フロー	540
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	918,358
現金及び現金同等物の期首残高	3,916,628
現金及び現金同等物の期末残高	4,834,986

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下の通りであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社アルティアーリ

連結の範囲の重要な変更

当社は、2020年7月に株式会社アルティアーリを設立し、当連結会計年度より、同社を連結の範囲に含めております。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

株式会社アルティアーリの決算日は6月30日であります。当該決算日の財務諸表を用いて連結財務諸表を作成しております。当該子会社の決算日と連結決算日である9月30日との差異期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

その他有価証券

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用しております。ただし、建物(建物附属設備は除く)及び2016年4月1日以後に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 8年～24年

工具、器具及び備品 4年～8年

②無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。なお、ソフトウェア(自社利用)については社内における見込利用可能期間(5年以内)に基づいております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残価保証額を残存価額とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②売上返金引当金

Green成功報酬売上の返金負担に備えるため、過去の返金実績率に基づき、返金損失見込額を計上しております。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

(5) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、2020年7月に100%子会社である株式会社アルティエリを設立したことに伴い、従来の「People Tech事業」に加えて「Sports Tech事業」を新設しました。

「People Tech事業」は、成功報酬型求人メディア「Green」、エンゲージメント解析ツール「Wevox」及びビジネス版マッチングアプリ「Yenta」を運営しております。

「Sports Tech事業」は、プロバスケットボールクラブの運営等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための基礎となる重要な事項における記載に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	People Tech事業	Sports Tech事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,464,211	—	4,464,211	—	4,464,211
セグメント間の内部売上高又は振替高	400	26,471	26,871	△26,871	—
計	4,464,611	26,471	4,491,083	△26,871	4,464,211
セグメント利益又は損失(△)	1,063,601	△55,920	1,007,680	3,223	1,010,904
セグメント資産	5,474,168	1,022,653	6,496,821	△91,970	6,404,851
セグメント負債	1,251,880	133,229	1,385,109	△91,970	1,293,139
その他の項目					
減価償却費	35,008	276	35,285	—	35,285
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	13,620	21,892	35,513	—	35,513

(注) 1. 調整額は以下の通りです。

①セグメント利益又は損失(△)の調整額3,223千円は、セグメント間取引消去であります。

②セグメント資産の調整額△91,970千円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。

③セグメント負債の調整額△91,970千円は、セグメント間の債務の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	188.23円
1株当たり当期純利益	24.18円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	24.01円

(注) 1. 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	645,720
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	645,720
普通株式の期中平均株式数(株)	26,708,885
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	185,121
(うち新株予約権(株))	(185,121)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。